

推しの演説 胸キュン

解体人書

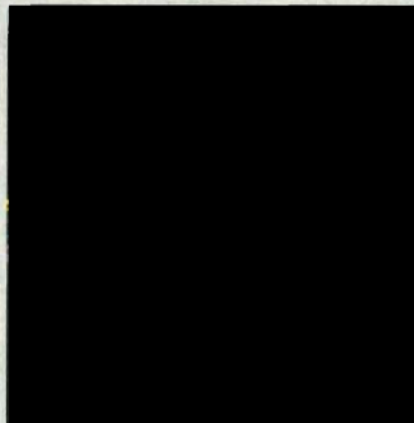
政治と民意

◇4◇

大音量の音楽とスポットライトを浴びて、7人の少女が軽やかに舞い、歌う。ステージの下ではファンたちが跳びはね、野太いコールが舞台上をより立てる。11月上旬の夜、名古屋市ライブハウス。アイドルグループ「君に、胸キュン。」の現役最長メンバー、鬼月ももの「生誕祭」がクライマックスを迎えている。鬼月のソロパートでは、テーマカラーの白いペンライトが一齐に揺れ、ファンたちは「ももんらん」と叫びながら熱狂した。



①アイドルグループ「君に、胸キュン。」のメンバー、鬼月ももん(左奥)の「生誕祭」(名古屋市市中区で)。国民民主党の玉木代表の街頭演説会で、うちわを手には援を送るももちゃん(中央) (東京港区で)



女性の声援が飛んだ。終了後も熱気は冷めず、玉木の前には写真撮影を求める支持者が列をなした。

最前列にいた横浜市の会社員ももちゃん(28)は「推し活の活動名」は、ネット番組で「売れない地下アイドル」と自虐する玉木を見て興味を持った。学生時代は「AKB48」のファンでライブに出かけて推し活を楽しんでいた。

政治家の推し活には、アイドルにはない独特の面白さがあった。国会や選挙など話題は事欠かず、SNS

の更新頻度は高い。街頭演説会ではライブのような一体感が味わえる。「推し」の情報供給量が多く、いつでも楽しめる。玉木の写真と誕生日ケーキを並べて「生誕祭」を開き、SNSに投稿。推し活仲間とライブ配信で「玉木さん光ってる論」や「解散総選挙はあるか」について、盛り上がる。東京都世田谷区の女性(24)は「アイドルはライブも特典会もお金がかかる。政治家はどちらも無料でお得」と手堅さを明かした。

推し活の心理を研究する愛知淑徳大教授の久保南海子(51)によると、ヒトは個体では弱いため、集団をつくって狩りをし、仲間と食べ物などの資源を分かち合っ

て生存してきた。推しに対してお金や時間など「資源」を投じて満足するのは、こうした進化の過程と関係しているという。

応援対象のイメージカラーを特別に思うのは、外部から受け取った情報を内面で意味づけ、人やモノに重

ね合わせる「プロジェクト・イオン」という心の働きで説明できる。「心の内を重ねる」という意味で、アイドルと政治家の推し活は同じ。ただ、政治は結果に責任が生じる点で異なる。

推し活は、SNSや動画配信サービスの登場で、爆発的に普及し、政治にも変化を及ぼしている。「政治の推し活は大歓迎」と語るのは国民民主党の情報発信の責任者で参院議員の伊藤孝恵(50)。街頭演説は「ファンミーティング」と位置付け、SNSでは、双方向の対話で一人一人とのやりとりを力を入れる。急速に支持を広げた参政党もライブ配信を駆使して党員との対話の機会を設け、地方にまで根を張る。

熱心な支持者は、党の情報をSNSで自主的に拡散し、選挙の別動部隊にもなる。こうした構図は、新興政党の躍進を支える原動力になっている。(敬称略)

鬼月のソロパートでは、テーマカラーの白いペンライトが一齐に揺れ、ファンたちは「ももんらん」と叫びながら熱狂した。

自分のイチオシを熱烈に応援することで喜びを感じ「推し活」。その波は、アイドルをはじめ、スポーツ選手やアニメキャラクター、そして政治の世界にも押し寄せていた。

10月下旬、東京・新橋。国民民主党代表の玉木雄一郎(56)の街頭演説会の最前列では、オレンジのペンライトが揺れ「たまきー」と

愛知県高浜市の男性会社

ご意見をお寄せください

メール shakai@chunichi.co.jp

ファクス 052(201)4331

〒460-8511(住所不要)

中日新聞 社会部 解体人書取材班

入力フォーム



2025年11月18日(火) 中日新聞 25面より
この記事は中日新聞社の承諾を得て掲載しています。